

移動水族館

VR海中さんぽ



LAPINCREATE

株式会社ラパンクリエト

学芸員 渡辺 克

企画展VR水族館

現在移動水族館という、イベントのコーナーとして水中をVR動画撮影した“VR海中さんぽ”というVRコンテンツで好評を得ております。
この技術を使い対象水域を調査撮影し展示形態にVRを組み込む事により、水族館のコアなファン以外の方々を誘引する手段として“VR”はキーワードになると考えます。



コンテンツ

・対象水域の生態調査を行い、スチル、ムービー、VR動画撮影を実施する

VRゴーグルorタブレット

→生態系の疑似体験

ムービー

→音声orテロップ解説

スチル展示

→説明パネル



VR動画による疑似体験による導入

VR疑似体験

生態系を疑似体験する事により
個別の種への好奇心を抱かせる事が可能と考えます。

解説ムービー視聴

VR体験をした事で、脳裏には生態系への好奇心導入は出来上がっておりますので
解説を理解するモチベーションが上がっていると考えます。

写真パネル展示

生態系をより理解したいと言う、知識欲に答える為に
スチルによる個別の種の詳細解説パネル展示を行います。



オリジナル撮影システムによるスピーディーなコンテンツ制作

全天専用ビデオカメラのメリット

全天専用2眼ビデオカメラを使用する事により、複数台のカメラを使ったVR撮影では必要となる、複数の動画をステッチ(貼り合わせ)工程が専用アプリケーションで可能な為、コンテンツ制作の時間が大幅に節約出来ます。

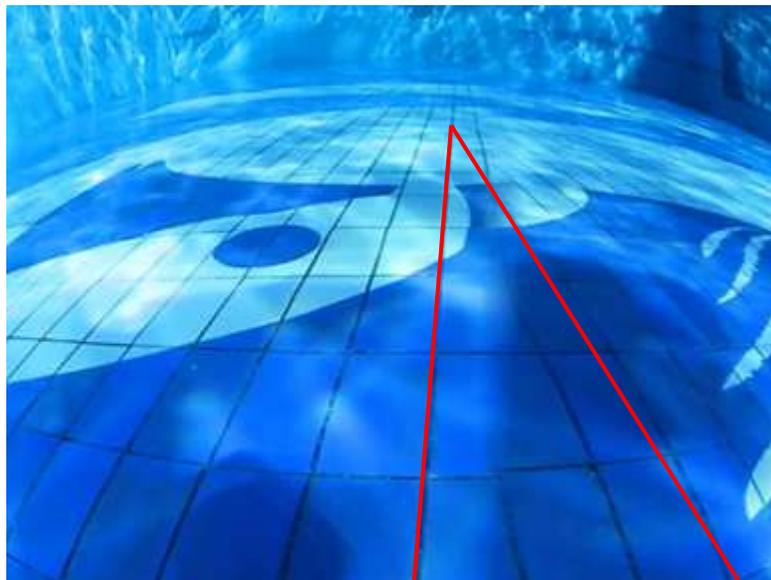


自社製水中ハウジング

全天専用の2眼ビデオカメラを使用すると水中のは屈折率が空中の1.3倍に成る為、デッドゾーンが発生致します、それを最小限に抑えたる為オリジナル水中ハウジングを開発しましたのでよりリアルな浮遊感を感じられる映像制作が可能となります

参考映像

全天カメラノーマルのままでは
水中で約30度のデッドゾーンが発生します



オリジナル水中ハウジングにより
デッドゾーンをほぼ無くす事が出来ます

